

山口県は、瀬戸内沿岸のコンビナートを中心に、基礎素材型産業に特化した「ものづくり県」として、戦後日本の産業発展を牽引してきました。

一方で、化石燃料の消費に起因する環境問題などは世界的な課題となっており、その克服に向けて、科学技術イノベーションに期待される役割は、ますます大きくなってきています。

こうした中、本県では、コンビナートで発生している「水素」や「二酸化炭素」を「地域エネルギー」として創造し、循環させる取組(=『マテリアル・サイクル』)を実現するイノベーションの創出を目指しており、本年7月に文部科学省の補助事業の採択を受け、研究開発や人材育成等を進めることとなりました。

このたび、産業界等の多くの方々のご理解・ご協力をいただくため、本取組内容を紹介するセミナーを企画しました。

キックオフ セミナー

平成26年

11月17日(月)

ANAクラウンプラザホテル宇部
3階 国際会議場 東の間

定員:200名
参加費無料

コンビナート資源に着目した 「地域エネルギー」の創造・循環によるイノベーションの創出を目指して ～マテリアル・サイクル・YAMAGUCHI～

プログラム

1 15:00～15:05

開会の挨拶 山口県副知事 藤部 秀則

2 15:05～15:15

来賓挨拶 文部科学省・中国経済産業局

3 15:15～16:20

基調講演 魅力に満ちた地域であるために ～次世代エネルギーを中心として～

九州大学水素エネルギー国際研究センター長 佐々木 一成 氏

我が国の成長戦略では地方創生が掲げられ、地方は重要な役割を担い都市部にはない独自性に期待が寄せられています。この度の基調講演では“次世代エネルギー”の視点に立ち地域社会を俯瞰することにより“魅力に満ちた地域であるために”と題した話題をご提供させていただきます。



4 16:30～17:05

事業概要

コンビナート資源に着目した
「地域エネルギー」の創造・循環による
イノベーションの創出に向けた取組
プロジェクトディレクター 東 正信



5 17:05～17:45

研究開発 ～招聘研究者紹介～

光触媒による水素製造技術の開発

山口大学大学院理工学研究科 助教(特命) 三宅 秀明
山口東京理科大学先進材料研究所 嘱託助教 ヴィート カロセク

光触媒能を用いた二酸化炭素固定化・還元及び 水素生成に関する新規技術の創成

山口東京理科大学先進材料研究所 嘱託助教 酒井 宗寿

リチウムイオン電池の未来について

山口大学大学院理工学研究科 助教(特命) トドロフ ヤンコ マリノフ

6 17:45～18:00

人材育成・機器共用化の取組

- ・プラント高度危機管理人材及び次世代イノベーション人材の育成プログラムの開発と実施
- ・研究開発推進のための大学機器の共用化

山口大学大学研究推進機構産学公連携センター長
望月 信介

7 18:15～19:30

◆交流会◆ 万葉の間(3階) 参加費:3,000円

主催 やまぐちイノベーション推進協議会

後援 中国経済産業局

●お問い合わせ●

地方独立行政法人 山口県産業技術センター イノベーション推進センター

〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4丁目1番1号

☎ 0836-53-5061 Fax 0836-53-5071 E-mail : inv_manage@iti-yamaguchi.or.jp